

## スマートウエルネスみしまの推進

アナ： 「市長が語る 2017 三島」第9回の今日は、「スマートウエルネスみしまの推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 市長のご挨拶の中でも「人も街も産業までも健康で元気な街」としてスマートウエルネスみしまという言葉をお聞きしますが、どのようなものでしょうか。

市長： これからの超高齢、人口減少社会の到来に対応し、市民の健康づくりはもとより、いきがい・きずなづくり、地域活性化・産業振興に至る幅広い分野に健康の視点を取り入れた協働のまちづくりを進めているものです。市民が健康で幸せと感じられる“健幸”都市みしまの実現を目指しています。

アナ： では、どのような取り組みをされるのでしょうか。

市長： 大きく3つの分野で取り組みます。

まずは「市民総参加で健康寿命を延ばす健康づくり」です。これは治療中心から予防重視へと意識と行動を変えること、そして、科学的根拠に基づく効果的な健康づくりプログラムの導入です。

2つ目は「生涯を通じて社会参加・地域交流できるまちづくり」です。これは社会参加や交流の機会を創出したり、歩いて楽しいまちづくりや公共交通機関の充実を目指して、いきがい・きずなづくりを推奨するものです。

3つ目は地域活性化や医療健康産業を中心とした産業振興など、「持続可能な健幸都市づくり」です。

これらの3つの方向性を基本として様々な施策を展開しています。

アナ： なるほど、保健医療分野だけで個人の健康増進を図るのではなく、生活環境や地域社会、学校や企業などあらゆる分野における取り組みによって、人はもとより都市そのものを健康にするということですね。

市長： その通りです。健康づくりをしているという意識がなくても、生活を楽しんでいたなら自然に健康づくりにつながっていたというような環境づくりをしたいと考えております。

アナ： 具体的な取り組みにはどのようなものがありますか。

市長： まず「健康づくりの取り組み」では、トレーニングによる健康づくりの場であるとともに中心市街地に「健幸に関するハブ機能」を置き、情報発信や交流など多角的な健康づくりにつなげていく「みしま健幸塾事業」、市内2カ所にある認定コースを活用し、運動効果が高いと言われる「ノルディックウオーキング推進事業」等がございます。

「いきがい・きずなづくりの取り組み」では、相談業務やセミナー開催等を通

じて、子育て世代や子育てがひと段落した女性の職場復帰支援、また、高齢者の経験や技術を生かした就労支援等をすすめる「女性と高齢者のチカラ活用事業」がございます。

「地域活性化の取り組み」では、箱根西麓三島野菜をはじめとする農畜産物と観光資源、さらには企業の技術・ノウハウを結び付け、付加価値の高い商品・サービスを生み出す「農商工連携事業」や、「三島に来ると健康で幸せになれる」をキーワードに市内外から観光客を呼び込み、地域活性化を図る「健幸観光事業」等がございます。

「総合的な取り組み」としましては、健康づくりをはじめとする幅広い活動にポイントを付与して、抽選で景品を差し上げることで健幸活動を促す「健幸マイレージ事業」や、スマートフォンアプリを活用し健康づくりとまち歩きを融合させることで市民や観光客に楽しく歩いて健康になっていただく「みしまあるく事業」等がございます。

アナ： 本当に幅広い取り組みをしているんですね。

市長： そうですね。ほかにも、平成 27 年度からは「みしまタニタ健康クラブ」をはじめとする株式会社タニタとの協働事業や、街なかのあらゆるところをキャンパスにして健幸に関するプログラムを実施する「みしま健幸大学事業」等も展開しており、健康づくりに対して無関心な人であっても楽しんでいるうちに、自然と健康づくりをしていたことにつながるよう引き続きサポートを行い、健康寿命の延伸と、皆様の幸福度向上につなげていきたいと考えております。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。